

第 68 回政策研究大学院大学経営協議会議事要旨

- 日 時 : 2018 年 1 月 25 日 (木) 15:00~16:13
- 場 所 : 政策研究大学院大学 会議室 3A
- 出席者 :
 - [学外委員]
石田委員、今井委員、奥委員、嶋津委員、名取委員、長谷川委員、林(康)委員、
藪中委員
 - [学内委員]
田中学長、増山理事・副学長、横道理事・副学長、小島理事、角南副学長、園
部副学長、宇佐美監事、林(礼)監事、佐藤大学運営局長
- 欠席者 :
 - [学外委員]
林(文)委員、板東委員
 - [学内委員]
道下学長特別補佐

I. 審議事項

1. 役員退職手当規程の改正について

大学運営局長から、役員退職手当規程の改正について説明があり、これを了承した。

◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。(○：学外委員、△：本学)

- ：法人化以降国に準じない独自の運用も可能かと思うが、比較対象である民間の母集団についてはどのような評価をされているのか。
- ：民間の大企業は退職金制度をやめ、給与に含めているところが多く、比較対象である民間の母集団は中小企業が増えているのではないか。
- △：国の基準に準じないことも可能。これまで本学としては国家公務員の基準に準拠することを基本としつつ、必要に応じ教職員の給与レベルを柔軟に設定できるよう年俸制の導入も行っている。

- 2. その他
特になし。

II. 報告事項

1. 20 周年記念式典及び同窓会について、

田中学長から、11 月に開催した 20 周年記念式典及び同窓会について報告があり、委員のご出席に対する謝辞が述べられた。

また、20 周年を契機とする国内同窓会の立ち上げについて報告があった。

2. 平成 28 年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

大学運営局長から、平成 28 年度に係る業務の実績に関する評価の結果について報告があった。

◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。(○：学外委員、△：本学)

- ：評価結果は運営費交付金等の予算に反映されるのか。
- △：予算に反映させる仕組みについては別途年度ごとに評価がある。本評価については 6 年毎に設定される中期目標期間の進捗状況の評価であり、次期の予算配分に向けて一定の考慮がなされるものであると考え。

- ：セキュリティなど、被害が出た際にその事実だけでなくそれまでの体制についてもマイナスの評価を受けることになる。マイナス評価を出さないよう慎重に取り組むことが重要である。

3. GRIPS の教育研究のご紹介

増山理事から、GRIPS の教育研究の状況について、修士課程プログラムを中心とする教育プログラムの概要について説明があった。さらに、具体的なプログラム・コースの状況として、横道理事から地域政策コース、増山理事から Young Leaders Program (YLP) の概要について説明があった。

◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。(○：学外委員、△：本学)

- ：教育プログラムの整理・統合に資する再編の取組はぜひ続けていただきたい。
- ：中央省庁からの派遣はあるか。
- △：中央省庁については主に公共政策プログラムでコース指定なしという形で受入れを行っている。また、今後中央省庁から YLP への受入れを強化したいと考えている。
- ：YLP の学生は日本に対する理解が進み好意的な印象か。
- △：全体的に日本に対して好意的な学生が多い。日本語の習得は要求していないが、カリキュラムの中で日本の紹介もあり、基礎的な理解は進む。今後 JICA と実施している日本理解プログラムをより取り込むカリキュラムにしたいと考えている。
- ：農業政策等のようなことを教えているのか大変関心がある。
- ：修了生が派遣元に戻りどのような活躍をし、どういった役職に就いているかが客観的な尺度になる。そのようなものを今後見せていただきたい。

4. その他

園部副学長から、2月4日（日）に開催予定の ESP ワークショップ「新興国と世界」について紹介があった。

以上